

消 防 年 報

令和7年版



【令和7年 寄贈された救急車1号(だるま号)】

唐津市消防本部



エンブレムの主旨

唐津(KARATSU)と、消防の現場活動である火災(KASAI)救急(KYUUKYUU)救助(KYUUJO)の頭文字「K」を筆の粗いタッチでデザインし、多くの歴史・史跡が残る唐津市をイメージしました。あらゆる災害に対し力強く、地域住民に応えるべき責務を表現しています。

「119」は、鏡山から眺めた風景をイメージし、上部の青色は玄界灘、中心の白線は砂浜、下部の緑色は、唐津市のシンボルのひとつである虹の松原を柔らかいタッチで表現しています。

縁取りは、消防車と警戒を呼びかける赤色灯をイメージする赤色。背景は、救急車と誠実さをイメージして白色を配しました。

これまでの風土、歴史を忘れることなく今から開かれる未来へ…
海・山・川の響きあう響創のまち「唐津市」を守り、親しみの持たれる消防本部をモチーフに作成されました。

は し が き

この消防年報は、唐津市消防の現勢と消防に関する各種資料を収録したもので、消防防災行政を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

この消防年報資料は原則として暦年で表し、予算に関係ある事項については、会計年度で作成しております。

実態数については、令和8年4月1日現在のものです。

なお、委託事務を行っている東松浦郡玄海町を含めた資料となっております。

令和8年8月

唐津市消防本部

◎ 沿 革

- 昭和 7年 1月 唐津市制施行
- 〃 22年 4月 唐津市常備消防部発足（唐津市役所内大名小路3-1）
- 〃 24年 4月 唐津市消防本部・消防署発足
- 職員13人・車両4台・人口53,238人
- 面積47.35km²・消防団員1,546人
- 〃 31年 3月 消防庁舎移転（競艇場内栄町）
- 〃 37年 7月 唐津市消防本部・署庁舎竣工（西城内1番11号）
- 〃 42年 4月 屈折はしご付消防ポンプ自動車配置
- 〃 42年 5月 化学消防自動車配置
- 〃 43年 4月 救急業務開始
- 〃 46年 4月 唐津・東松浦広域市町村圏組合発足
- 〃 47年 4月 唐津・東松浦広域市町村圏組合消防本部・署発足
- 1本部・1署・4分署・1派出所
- 職員140人・車両22台・人口148,486人
- 面積522.56km²・団員数5,700人
- 〃 48年 3月 分署・派出所庁舎竣工
- 〃 48年 3月 消防緊急指令装置整備
- 〃 49年 10月 梯子付（35m級）消防ポンプ自動車配置
- 〃 50年 10月 玄海原子力発電所運転開始
- 〃 51年 7月 石油コンビナート等特別防災区域指定
- 〃 54年 5月 人員輸送車配置
- 〃 55年 3月 大型化学消防自動車配置
- 〃 56年 3月 唐津・東松浦広域市町村圏組合消防本部・署庁舎竣工（二タ子3丁目2-46）
- 〃 57年 3月 大型高所放水車配置
- 〃 58年 1月 泡原液搬送車配置
- 〃 59年 2月 消防本部機構改革（総務課・予防課の2課）
- 〃 60年 3月 消防本部車庫増築

〃	62年	12月	無線設備（固定局・基地局）更新
平成	元年	3月	救助工作車配置
〃	5年	3月	消防緊急通信指令施設整備
〃	5年	7月	消防職員の定数改定172人
〃	5年	10月	梯子付（15m級）消防ポンプ自動車更新
〃	6年	4月	消防本部機構改革（総務課・予防課・警防課の3課）
〃	7年	6月	緊急消防援助隊発足、都道府県隊登録（救助隊、梯子隊）
〃	8年	3月	梯子付（35m級）消防ポンプ自動車更新
〃	9年	4月	高規格救急自動車（本署）配置
〃	9年	7月	予防査察車配置
〃	9年	7月	（社）日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
〃	9年	10月	資機材搬送車配置
〃	10年	1月	パソコン稼動開始（救急統計）
〃	10年	4月	携帯電話からの119番通報受信開始
〃	11年	3月	大型化学消防自動車更新
〃	11年	3月	唐津西ロータリークラブより災害広報車及びジェットエアータントの寄贈を受ける
〃	11年	6月	安心FAX119番配置
〃	12年	1月	消防防災資機材倉庫建設用地（1,162.31㎡）購入
〃	12年	10月	消防防災資機材倉庫（220.65㎡）竣工
〃	13年	2月	高規格救急自動車（南部分署）配置
〃	14年	3月	救急棟（211.40㎡）竣工
〃	15年	2月	高規格救急自動車（北部分署）配置
〃	16年	1月	高規格救急自動車（東部分署）配置
〃	16年	3月	緊急消防援助隊登録（都道府県隊指揮隊、救急隊各1隊）
〃	17年	1月	唐津市発足 （市町村合併 唐津市、浜玉町、厳木町、相知町、北波多村、肥前町、鎮西町、呼子町）
〃	17年	1月	唐津市消防本部・消防署発足 1本部・1署・4分署・1派出所 職員172人・車両39台・人口142,993人 面積523.41k㎡／団員数4,602人

- 〃 17年 1月 高規格救急自動車（本署）配置
- 〃 17年 2月 救助工作車更新
- 平成 17年 3月 水槽付消防ポンプ自動車（西部分署）配置
- 〃 17年 4月 緊急消防援助隊登録（消火隊1 隊）
- 〃 18年 1月 七山村、唐津市に合併
- 〃 18年 1月 水槽付消防ポンプ自動車（北部分署）配置
- 〃 18年 2月 高規格救急自動車（西部分署）配置
- 〃 18年 4月 消防本部機構改革（総務課・地域消防課・予防課・警防課）
- 〃 18年 4月 玄海町消防団定数4 0 0 人
- 〃 19年 2月 高規格救急自動車（中部派出所）配置
- 〃 19年 2月 高規格救急自動車（本署）更新
- 〃 19年 4月 団塊の世代の大量退職対策として、定数外にて前倒し採用（H19年度4 人）
- 〃 20年 3月 水槽付消防ポンプ自動車（東部分署）配置
- 〃 20年 4月 消防通信指令施設更新整備
- 〃 20年 4月 団塊の世代の大量退職対策として、定数外にて前倒し採用（H20年度6 人）
- 〃 21年 1月 水槽付消防ポンプ自動車（C A F S）（南部分署）配置
- 〃 21年 1月 予防査察車（本署）配置
- 〃 21年 1月 5 号車（C A F S）（本署）配置
- 〃 21年 3月 消防本部庁舎耐震補強他改修建築工事
- 〃 21年 4月 団塊の世代の大量退職対策として、定数外にて前倒し採用（H21年度9 人）
- 〃 21年 11月 救急振興財団より、救急普及啓発広報車（本署）の寄贈を受ける
- 〃 22年 3月 高規格救急自動車（南部分署）更新
- 〃 22年 4月 大型化学高所放水車・泡原液搬送車（本署）配置
- 〃 22年 4月 水難救助車（本署）配置
- 〃 23年 2月 支援車（本署）配置（緊急消防援助隊登録）
- 〃 23年 3月 災害活動連絡車配置（南部分署、西部分署）
- 〃 23年 3月 財団法人日本消防協会より唐津消防団本部車の寄贈を受ける
- 〃 23年 3月 東日本大震災に伴い緊急援助隊佐賀県隊として出動（5 人、救助工作車1 台）
- 〃 23年 11月 災害活動連絡車配置（東部分署、北部分署）

〃	24年	3月	水槽付消防ポンプ自動車（2号車）（C A F S）本署配置
〃	24年	4月	消防吏員定数172人から180人へ条例改正（平成26年度中部分署昇格移転に伴う）
〃	24年	12月	高規格救急自動車（東部分署）更新
平成	25年	1月	高規格救急自動車（北部分署）更新
〃	25年	4月	唐津市消防団発足（唐津市内の9消防団統一、条例定数は県内最多の4,249人）
〃	26年	3月	高規格救急自動車（本署）更新
〃	26年	3月	消防救急デジタル無線設備整備
〃	26年	8月	中部派出所を石志に中部分署として新築移転
〃	27年	3月	水槽付消防ポンプ自動車（C A F S）中部分署配置
〃	27年	3月	指揮車（本署）更新
〃	27年	7月	本部軽連絡車 更新
〃	28年	3月	高規格救急自動車（本署）更新
〃	28年	3月	高規格救急自動車（西部分署）更新
〃	28年	4月	熊本地震に伴い緊急消防援助隊佐賀県隊として出動（8日間、44人）
〃	29年	7月	九州北部豪雨に伴い緊急消防援助隊佐賀県隊として出動（21日間、96人）
〃	30年	2月	35m級梯子付消防車（本署）更新
〃	30年	4月	消防本部機構改革（総務課・地域消防課・予防課・警防課・情報指令課）
〃	31年	3月	高機能消防指令センター更新
〃	31年	3月	高規格救急自動車・連絡車（中部分署）更新
〃	31年	3月	連絡車更新（本署）
〃	31年	4月	消防吏員定数180人から182人へ条例改正（佐賀県消防防災航空隊への職員派遣のため）
〃	31年	4月	唐津市消防団定数を4,249人から3,711人へ条例改正（538人減）
令和	元年	7月	唐津市消防ドローン隊発足
〃	元年	8月	大雨による災害発生に伴い佐賀県常備消防相互応援協定に基づき、杵藤地区広域市町村組合消防本部に応援隊派遣（2日間、16人）
〃	2年	2月	化学車更新（本署）
〃	2年	6月	北部分署新築移転
〃	2年	7月	九州南部豪雨に伴い緊急消防援助隊佐賀県隊として出動（4日間、15人）
〃	2年	8月	東部分署新築移転
〃	3年	2月	高規格救急自動車（南部分署）更新

- 〃 3年 4月 西部分署新築移転
- 〃 3年 5月 南部分署新築移転
- 〃 4年 3月 救助工作車（本署）更新
- 〃 4年 4月 玄海町消防団定数を400人から350人へ条例改正（50人減）
- 令和 4年 12月 高規格救急自動車（東部分署）更新
- 〃 5年 4月 水槽付消防ポンプ自動車（CAFS）西部分署更新
- 〃 5年 5月 資機材搬送車（本署）更新
- 〃 5年 7月 唐津市浜玉町平原土石流災害に伴い佐賀県常備消防相互応援協定に基づき応援隊受援（4日間370人）
- 〃 5年 12月 高規格救急自動車（本署）更新
- 〃 5年 12月 高規格救急自動車（北部分署）更新
- 〃 6年 10月 消防本部本署庁舎感染症対策工事
- 〃 7年 1月 予防査察車（本署）更新
- 〃 7年 3月 ポンプ車1号（本署）更新
- 〃 7年 4月 唐津市消防団定数を3,711人から3,092人へ条例改正（619人減）
- 〃 7年 5月 高規格救急自動車（本署）（寄贈 だるま号）更新
- 〃 7年 12月 玄海町消防団定数を350人から300人へ条例改正（50人減）
- 〃 8年 2月 高規格救急自動車（西部分署）更新
- 〃 8年 4月 唐津市職員定数の消防職員を182人から190人へ条例改正

目 次

唐津市区域別構成割合	1
唐津市消防の統計	2
119番のしくみ	3
全国統一防火標語	4. 5. 6

総 務

1 位 置	7
2 管内図及び消防機関配置図	8
3 消防庁舎の現況	9
4 消防の組織	10
5 事務分掌	11. 12
6 職員の階級別年齢	13
7 消防職員在職年数	14
8 職員の年齢・勤続年数別人員構成状況	15
9 職員の免許・資格取得状況	16
10 消防費予算（当初）	17
11 消防費（決算額）と世帯割・人口割負担額	18

地域消防

1 区域内消防団の現勢	19
2 消防団組織	20. 21. 22. 23

予 防

1 管内の防火対象物件数	24. 25
2 防火管理者が選任されている防火対象物	26. 27
3 消防用設備等の点検報告件数	28. 29
4 中高層建築物の用途別件数	30
5 建築同意事務処理件数	31
6 防火対象物点検報告件数	32
7 防火対象物点検報告特例認定状況	33

8	唐津市ホテル・旅館等防火基準適合表示制度実施状況	34
9	火災予防広報活動状況	35
10	重大違反対象物に係る違反処理状況	35
11	唐津・東松浦地区幼少年女性防火委員会結成状況	36
12	危険物製造所等設置数	37
13	危険物規制事務処理状況	38

警 防

1	消防車両等一覧表	39
2	主要資機材一覧表	40
3	消防水利の状況	41
4	消火栓配管径別状況	41
5	消防訓練	42
6	消防相互応援協定等締結状況	43
7	火災出動状況	44
8	警戒出動状況	44
9	諸届出一覧表	45

情報指令

1	消防無線通信系統	46
2	119番通報受付状況	47
3	市民案内統計	47
4	ドローン隊状況	47

火災統計

1	火災状況	48
2	月別火災統計	49
3	地区別火災統計	50
4	時間別火災概況	51
5	出火原因別統計	52
6	出火原因・月別統計	53
7	過去10年間の火災件数の推移	54

8	過去10年間の損害額の推移	54
9	過去10年間の火災種別の推移	55
10	過去10年間の地区別火災件数	55

救 急 統 計

1	救急活動一目統計比較	56
2	事故種別・傷病程度及び性別件数	57
3	事故種別・年齢区分別搬送人員	58
4	過去5年間の救急出場件数	59
5	救急隊員の行った応急処置件数	60
6	市内離島の救急要請状況	61

救 助 統 計

1	区域別・事故種別・救助出動状況	62
2	過去5年間の救助活動状況	62

唐津市区域別構成割合（委託含む）

基準日令和8年4月1日

区 域 別	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (Km ²)
から 唐 津 市	111,934	51,648	487.58
げん かい ちょう 玄 海 町	4,700	1,868	35.92
合 計	116,634	53,516	523.50

唐津市消防の統計（委託を含む）

令和8年4月1日現在

	面 積	人 口 密 度	人 口	世 帯 数
人口・世帯	 523.50km ²	 223人/1km ²	 116,634人	 53,516世帯

	消 防 予 算	署 所 数	職 員 数	消 防 団 員 数
令和7年度 消防予算組 織	 3,384,952千円	 消防本部 1 消防署 1 分署 5	 定員 190人 実員 182人	 定員 3,392人 実員 3,185人

	消 防 車	特 殊 車 両	救 急 車 他	水 利
車 施 両 設	 消防ポンプ自動車 8台	 はしご車 1台 化学車 1台 泡原液搬送車 1台 救助工作車 1台 水難救助車 1台 資機材搬送車 1台	 高規格救急車 8台 指揮車 1台 支援車 1台 査察広報車等 10台	 消火栓 3019基 防火水槽 1305基 プール 63基 井戸 3基

	火 災 件 数	主な出火原因	救 急 件 数	救 助 件 数
令和7年1月～ 令和7年12月 火 災 救 助	 41件	 こんろ 3件 配線器具 3件 たき火 6件	 年間 6,929件 1日平均 19.0件	 32件

	防 火 対 象 物	危 険 物 施 設	防 火 優 良 認 定 証	防 火 組 織
予 防	 4,834件	 貯蔵所 330件 取扱所 148件	 定期点検報告件数 84件 交 付 対 象 物 50件	 女性防火クラブ 1 少年消防クラブ 1 幼年消防クラブ 18

119番のしくみ

火事です！
救急です！
救助です！



119番

119番の正しい通報

- ①火事か、救急かはっきりと
- ②場所は…〇〇市町〇番地
目印になる目標
- ③何がどうしたのか
(どの程度燃えているか。)
- ④名前・電話番号

消防署



関係機関への連絡

唐津市(本庁、
各市民センター)
玄海町
警察署
電力会社
ガス会社

現場近くの消防署・分署へ
出動指令



消防車



火災出動



火災



救助出動

救助工作車



救助



救急出動

救急車



救急



病院

傷病者の病状に合わせて
病院を手配します。



全 国 統 一 防 火 標 語

第 1 回	(昭和 4 1 年度)	火の始末 人に頼むな 任せるな
第 2 回	(昭和 4 2 年度)	さあねよう アッそのまえに 火の点けん
第 3 回	(昭和 4 3 年度)	あなたは火事の恐ろしさを知らない
第 4 回	(昭和 4 4 年度)	今捨てた タバコの温度が 7 0 0 度
第 5 回	(昭和 4 5 年度)	あぶない！ 消し忘れ 切り忘れ
第 6 回	(昭和 4 6 年度)	火を使う 人ならできる 火の始末
第 7 回	(昭和 4 7 年度)	慣れた火に 新たな注意
第 8 回	(昭和 4 8 年度)	隣にも 声かけあって よい防火
第 9 回	(昭和 4 9 年度)	生活の 一部にしよう 火の点検
第 10 回	(昭和 5 0 年度)	幸せを 明日につなぐ 火の始末
第 11 回	(昭和 5 1 年度)	火災は人災 防ぐはあなた！
第 12 回	(昭和 5 2 年度)	使う火を 消すまで離すな 目と心
第 13 回	(昭和 5 3 年度)	それぞれの 持場で生かせ 火の用心
第 14 回	(昭和 5 4 年度)	これくらいと 思う油断を 火が狙う！
第 15 回	(昭和 5 5 年度)	あなたです！ 火事を出すのも 防ぐのも
第 16 回	(昭和 5 6 年度)	毎日が 防火デーです ぼくの家
第 17 回	(昭和 5 7 年度)	火の用心 心で用心 目で用心
第 18 回	(昭和 5 8 年度)	点検は 防火の始まり しめくくり
第 19 回	(昭和 5 9 年度)	“あとでより” ”いま”が大切 火の始末
第 20 回	(昭和 6 0 年度)	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
第 21 回	(昭和 6 1 年度)	防火の大役 あなたが主役
第 22 回	(昭和 6 2 年度)	消えたかな！ 気になるあの火 もう一度
第 23 回	(昭和 6 3 年度)	その火 その時 すぐ始末
第 24 回	(平成 元 年度)	おとなりに あげる安心 火の始末
第 25 回	(平成 2 年度)	まず消そう 火への鈍感 無関心
第 26 回	(平成 3 年度)	毎日が 火の元警報 発令中

第 27 回	(平成 4 年度)	点検を 重ねて築く 火災ゼロ
第 28 回	(平成 5 年度)	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
第 29 回	(平成 6 年度)	安心の 暮らしの中心 火の用心
第 30 回	(平成 7 年度)	災害に 備えて日頃の 火の用心
第 31 回	(平成 8 年度)	便利さに 慣れて忘れる 火の怖さ
第 32 回	(平成 9 年度)	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
第 33 回	(平成 10 年度)	気をつけて はじめはすべて 小さな火
第 34 回	(平成 11 年度)	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
第 35 回	(平成 12 年度)	火をつけた あなたの責任 最後まで
第 36 回	(平成 13 年度)	たしかめて。 火を消してから 次のこと
第 37 回	(平成 14 年度)	消す心 置いてください 火のそばに
第 38 回	(平成 15 年度)	その油断 火から炎へ 災いへ
第 39 回	(平成 16 年度)	火は消した？ いつも心に きいてみて
第 40 回	(平成 17 年度)	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
第 41 回	(平成 18 年度)	消さないで あなたの心の 注意の火
第 42 回	(平成 19 年度)	火は見てる あなたが離れる その時を
第 43 回	(平成 20 年度)	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
第 44 回	(平成 21 年度)	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
第 45 回	(平成 22 年度)	消したかな あなたを守る 合言葉
第 46 回	(平成 23 年度)	消したはず 決めつけしないで もう一度
第 47 回	(平成 24 年度)	消すまでは 出ない行かない 離れない
第 48 回	(平成 25 年度)	消すまでは 心の警報 ON のまま
第 49 回	(平成 26 年度)	もういいかい 火を消すまでは まあただよ
第 50 回	(平成 27 年度)	無防備な 心に火災が かくれんぼ
第 51 回	(平成 28 年度)	消しましょう その火その時 その場所で
第 52 回	(平成 29 年度)	火の用心 ことばを形に 習慣に
第 53 回	(平成 30 年度)	忘れてない？ サイフにスマホに火の確認
第 54 回	(令和 元 年度)	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

第 55 回	(令和 2 年度)	その火事を	防ぐあなたに	金メダル
第 56 回	(令和 3 年度)	おうち時間	家族で点検	火の始末
第 57 回	(令和 4 年度)	お出かけは	マスク戸締り	火の用心
第 58 回	(令和 5 年度)	火を消して	不安を消して	つなぐ未来
第 59 回	(令和 6 年度)	守りたい	未来があるから	火の用心
第 60 回	(令和 7 年度)	急ぐ日も	足止め火を止め	準備よし
第 61 回	(令和 8 年度)	火の確認	いい日を支える	いい習慣